資 料 ５

八戸市地球温暖化対策実行計画事務事業編（うみねこプランⅤ）
令和７年度取組状況について

１　うみねこプランⅤ（R7.7 改定）について

当該プランは、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第 21 条に基づく地方公共団体実行計画であり、全自治体に策定が義務付けられた、自らの事務事業に伴い発生する温室効果ガス排出量の削減等のための取組に関する計画である。

① 温室効果ガス削減目標

令和 12（2030）年度の事務事業に伴う温室効果ガス排出量を

平成 25（2013）年度比で **50%削減**

② 削減のための取組（以下、「削減対策」という。）

(ア)エネルギー使用量の削減（省エネ対策）

(イ)エネルギーの脱炭素化（再エネ導入）

③ 区域施策編の目標達成に資する取組

（ア）地域全体の削減に資する取組（水道使用量、廃棄物排出量削減）

（イ）吸収作用の保全・強化のための取組（森林整備・保全、都市緑化）

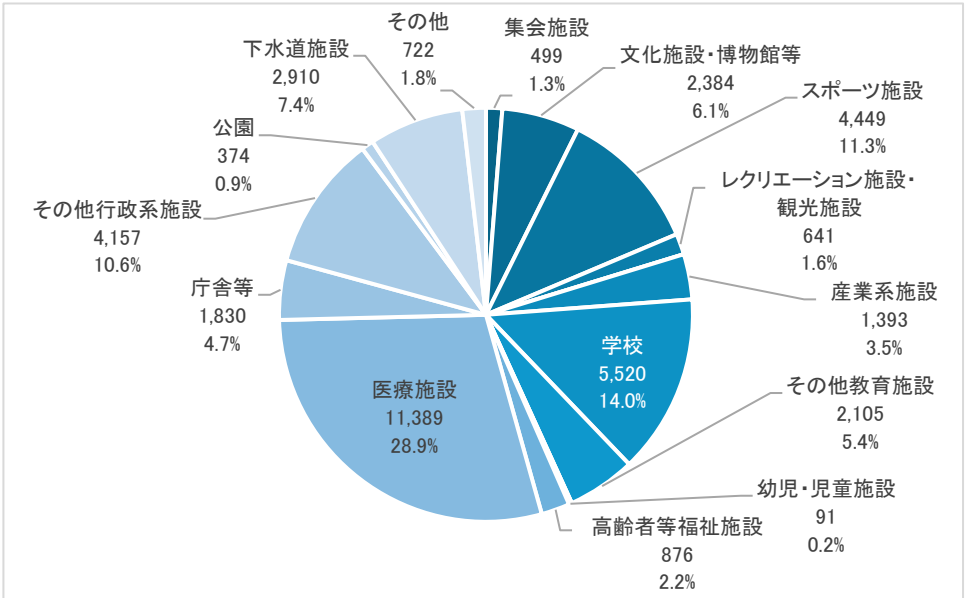
２　令和７年度における温室効果ガス排出量

プラン改定年度の令和７年度は削減対策実施に向けた調査・検討（LED 照明 ESCO 事業可能性調査、太陽光発電導入可能性調査等）を中心に進めたところであり、新たな削減対策による効果は上げられなかった。

① 温室効果ガス排出量実績

	基準年度（H25 年度）	R６年度	R７年度	前年度比増減率	基準年度比増減率	R７年度進行の目安
温室効果ガス排出量［t-CO_2］	45,633.7	40,662.2	40,871.8	+0.5%	△10.4%	△17.4%

② 二酸化炭素排出量の施設分類別構成率



グラフ　令和７年度における二酸化炭素排出量の施設分類別の構成 （単位：t-CO_2）

③ エネルギー使用量の削減に向けた主な取組

（ア）LED 照明の導入状況

	令和６年度	令和７年度
照明のある施設数（施設）	554	554
うち LED 化が完了した施設数（施設）	81	94
LED 化が完了した施設の割合（%）	14.6	17.0

④ エネルギーの脱炭素化に向けた主な取組

（ア）太陽光発電設備の導入状況

	平成 25 年度	令和６年度	令和７年度
太陽光発電設備導入施設数（施設）	12	31	31
太陽光発電設備合計容量（kW）	203.30	408.74	408.74
蓄電池導入施設数（施設）	4	23	23
蓄電池合計容量（kWh）	36.30	318.60	318.60

（イ）再生可能エネルギー電力の使用状況

	平成 25 年度	令和６年度	令和７年度
総電力使用量（kWh）	35,797,550	42,090,879	44,369,790
うち再生可能エネルギー電力の使用量（kWh）	0	0	0
再生可能エネルギー電力の使用率	0	0	0

（ウ）次世代自動車等の導入状況

各次世代自動車等の導入台数（台）	令和６年度	令和７年度
電気自動車（EV）	3	3
プラグインハイブリッド自動車（PHEV）	2	3
ハイブリッド自動車（HV）	2	2
合計	7	8

３　令和７年度における水道使用量、可燃性廃棄物排出量、不燃性廃棄物排出量

	基準年度	R６年度	R７年度	前年度比増減率	基準年度比増減率	R７年度進行の目安
水道使用量［m^3］	575,307.0	454,909.4	474,370.2	+4.3%	△17.5%	△20.0%
可燃性廃棄物排出量［kg］	1,074,259.0	865,891.9	864,381.6	△0.2%	△19.5%	△19.8%
不燃性廃棄物排出量［kg］	70,311.8	65,832.3	64,806.5	△1.6%	△7.8%	△0.4%

※基準年度は平成 25 年度（不燃性廃棄物排出量のみ平成 30 年度）

４　今後の取組

温室効果ガス削減目標の達成に向けては、エネルギー使用量の削減（省エネ対策）とエネルギーの脱炭素化（再エネ導入）の両面から取組を進めることが効果的である。

令和８年度は、省エネ対策の取組として、公園等の公共施設 160 施設や小中学校へのLED 照明の導入により、また、再エネ導入の取組として、本庁舎における再生可能エネルギー電力の調達等により、温室効果ガス削減に取り組んでいる。

今後においては、省エネ対策では、LED 照明導入などの既存施設の省エネ対策や環境性能の高い施設の整備を進めるとともに、再エネ導入では、太陽光発電設備の導入や再生可能エネルギー電力の調達、次世代自動車等の導入を全庁的に連携しながら推進していく。